

昨年度評価(H30年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成状況	4_30年度決算①	5_R1年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
32	花マルシェ事業	地域資源の花の商品開発やブランディング推進のため、地方創生推進交付金を活用した花マルシェを開催する。	○	4,200	3,000	-1,200	事業の認知度が向上してきている。引き続き、商品の拡充や販路開拓に努める。	産業支援課
32	小規模事業者再投資補助事業	小規模事業者の店舗等の水まわりの改修工事費を支援することで、地域経済の活性化を図る。	○	200	1,000	800	水まわりの改修需要は高いが、工事期間中の休業が影響するため、件数が伸びていない。当初3年間という考え方で開始した事業であり、新たな補助制度を検討する。	産業支援課
32	企業立地意向調査事業	企業に対して立地意向調査を実施し、市内への誘致活動に役立てる。	○	1,296	0	-1,296	企業立地意向調査を実施し進出意向のあった企業を積極的に訪問した。工業団地への進出のみならず、引き続き誘致活動を実施する。	産業支援課
32	緊急農地防災事業(荒巻池)	荒巻池の堤体を改修するための調査設計委託等を行う。	○	5,000	36,725	31,725	堤体の調査を実施した。今年度に改修工事を実施する。	土木課
32	土地改良施設維持管理適正化事業(除塵機設置)	除塵機設置のための現地調査を行う。	○	1,590	1,590	0	現地調査を実施した。今年度に設置に関する負担金を負担する。	土木課
90	雨水管渠設置工事(荒井地区)	雨水管渠を設置するための調査設計委託等を行う。	○	10,800	70,643	59,843	調査設計を実施した。今年度から2か年で設置工事を実施する。	土木課
90	雨水貯留施設設置補助事業	補助事業の認知度向上のための広報活動を行う。	○	450	225	-225	雨水の河川への直接放流を緩和する設備設置補助であり、補助件数は伸びないが重要な施策のため継続実施。	土木課
7	道路(橋梁)等長寿命化事業	橋梁の点検を行う。新桜橋の修繕工事設計委託を行う。	○	10,514	43,711	33,197	長寿命化計画に基づき、定期点検を行い調査設計を実施した。今年度に改修工事を実施する。	土木課
32	県営たん水防除事業(大久伝排水機場負担金)	事業実施のために地元の同意等を準備する。	○	6,500	15,600	9,100	実施に向けた同意を収集し、用地買収の準備を進めた。継続実施。	土木課
32	土地改良施設維持管理適正化事業(大脇排水機場)	排水機場施設のオーバーホールを実施するため調査等を行う。	○	1,080	20,250	19,170	オーバーホールするため調査を実施した。今年度にオーバーホールを実施する。	土木課
90	豊明市総合治水対策計画	豊明市総合治水対策計画の改訂を行う。	○	10,364	0	-10,364	総合治水対策計画を改定した。計画に基づき優先順位を定め、治水対策を実施する。	土木課
3	空家等対策推進事業	空き家となっている不良住宅等の解消を促進する。	○	585	500	-85	協議会を開催し、特定空家等の判定基準を作成した。不良住宅等を基準に従い判定し、助言・指導を進めていく。	都市計画課
8	桜ヶ丘沓掛線道路改良事業	桜ヶ丘沓掛線及び周辺道路の改良を実施する。	○	332,361	10,084	-322,277	2月15日に開通式を実施し事業が完了した。引き続き周辺道路の渋滞緩和に努める。	都市計画課
19	住宅・建築物安全ストック形成補助事業	耐震診断・耐震改修費用を補助し耐震化を促進する。	○	5,954	30,723	24,769	木造住宅耐震改修の件数は前年度を下回ったが、PR活動の充実を図り、継続的に実施する。	都市計画課
10	都市計画決定関連事業	第6回区域区分の見直し等に対応する。	○	98	0	-98	名古屋都市計画第6回区域区分の見直しで、寺池地区の編入と市内3か所の軽微な変更を実施した。間米南部地区編入に向け継続的に実施する。	市街地整備課
10	立地適正化計画事業	現状と課題分析及び方針の検討を行う。	○	4,746	7,500	2,754	作業部会、策定委員会を実施し、現状と課題を抽出した。来年3月の策定に向け継続的に実施する。	市街地整備課
10	新市街地整備事業(寺池地区)	事業計画等の作成及び関係機関協議を行い、市街化編入等の都市計画決定を行う。	○	6,675	2,808	-3,867	地権者に向け計画概要を説明し、昨年度末に市街化編入が完了した。本同意収集に向け説明会を実施し、今年中に組合設立を目指す。	市街地整備課
10	新市街地整備事業(間米南部地区)	計画協議の調整及び区画整理設計を行う。	△	624	56,948	56,324	区画整理に向けたパートナーとして業務代行業者を選出し、発起人会とともに事業進行中で、継続的に実施する。	市街地整備課
32	産業団地整備検討事業(柿ノ木周辺地区)	産業用地確保のための具体的な調査・設計を行う。	○	17,559	10,886	-6,673	地権者説明会を開催し、金入り同意書を収集した。一部地権者を除き、概ね順調に進行中で、継続的に実施する。	市街地整備課
32	産業団地整備検討事業(豊山周辺地区)	基盤整備を進めていくため、地権者組織支援を行う。	○	1,188	1,228	40	地権者に開発に関する意見調査を実施し、7割の賛同は得たものの、地権者組織である発起人準備会の協力者が少数であり、事業縮小の検討が必要。	市街地整備課

昨年度評価(H30年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成状況	4_30年度決算①	5_R1年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
90	不明水対策事業	農村集落排水施設管渠の一部で管更生工事を実施する。	○	21,196	26,000	4,804	農村集落排水施設管渠の一部で管更生を実施した。老朽化した管の修繕や誤接続解消に向け継続的に実施する。	下水道課
24	農排統合事業	農村集落排水事業を公共下水道事業へ統合するための工事詳細設計、県道、県河川協議等を実施する。	○	43,829	389,400	345,571	農排統合に向けた工事の詳細設計及び協議を実施した。今年度から工事に着手し継続的に実施する。	下水道課
26	公営企業会計移行事業	下水道事業特別会計を企業会計へ移行するための移行事務及びシステム構築(委託業務)を実施する。	○	14,127	8,624	-5,503	企業会計システムの構築と関係課との調整を実施した。引き続き、職員の知識向上と完全移行を実施する。	下水道課
90	流域下水道事業(建設事業負担金)	県が行う流域下水道建設事業に対し進捗状況に伴い負担を行う。	○	23,677	21,219	-2,458	流域下水道事業に対して建設負担を実施した。	下水道課
90	下水道管路施設長寿命化事業	人孔蓋更新、管更生を実施する。 新たにストックマネジメント計画を策定する。	○	60,803	34,668	-26,135	施設の長寿命化を図るストックマネジメント計画の基本方針を策定した。点検調査をすることで、修繕計画策定しストックマネジメント実施計画の策定を目指していく。	下水道課
90	下水道総合地震対策事業	下水道施設耐震化詳細設計及びマンホールトイレ設置整備工事を実施する。	○	27,796	41,067	13,271	下水道施設の耐震化を図り、避難所となる一部の小中学校にマンホールトイレ設置した。	下水道課
90	塵芥処理事業	市内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないように収集し処分する。	○	109,691	119,707	10,016	可燃ごみの排出量を抑制するために家庭系ごみ減量化実施計画を策定し、分別の徹底や食品ロスの啓発に努めた。削減目標に向け継続的に実施する。	環境課
90	東部知多衛生組合負担金事業	市内における一般廃棄物を処分する。	○	640,785	310,214	-330,571	新ごみ処理施設の完成にともない、負担金が高止まりするため、排出量を抑制し、負担額を少しでも減少させる。	環境課
9	生活排水対策推進計画策定委託	生活排水対策推進計画を策定する。	○	1,275	0	-1,275	生活排水対策推進計画を策定し、合併処理浄化槽の補助制度の見直しを実施。引き続き水質改善に努める。	環境課

※事業が関連するめぐすまの姿の番号です。No.90はめぐすまの姿関連外事業です。

「2_年度目標」から「6_差」の内容は、各所属の重点事業整理表からの転記です。

昨年度評価(H30年度)							
【主たる中施策事業】評価と現状認識							
※	1_事業名	2_進捗状況	3_30年度決算①	4_R1年度予算②	5_差(②-①)	6_評価と現状認識	7_所属
31	観光活性化事業	B	15,760	13,353	-2,407	民間事業者が開催したマラソン事業への協賛や各種イベントにおいて、観光PRを実施した。桶狭間の戦いを主軸とした観光資源の活用や新たな観光資源の発掘を柔軟な発想で創出することが必要。一方で三崎水辺公園の桜まつりは事業の見直しにより廃止した。	産業支援課
32	商工業振興補助事業	C	21,820	21,870	50	地方創生推進交付金を活用した「花マルシェ事業」、新たに地方創生推進交付金の対象となった「前後駅前活性化事業」を実施した。両事業は3年が経過し、イベントを通して地元商工業者の収益向上や宣伝効果のある事業展開が望まれる。	産業支援課
32	商工業の育成振興事業	A	95,844	86,051	-9,793		
32	商工業振興補助事業	C	21,820	21,870	50	商工業の振興を側面から支援するために、商工会事業に補助を実施した。また、雇用就労対策では近隣自治体と合同企業説明会を開催し、就労希望者と雇用者が接する機会を提供した。	産業支援課
39	雇用就労対策事業	B	601	2,261	1,660		
15	豊明勤労会館事業	B	13,024	19,889	6,865	利用者の利便性を高めるため、会館2階トイレの様式化を実施した。今年度は多目的ホールの照明改修を実施し、更なる利便性向上を図る。	産業支援課
32	企業留置事業	B	105,810	0	-105,810	企業再投資補助金を2社に対して交付した。積極的な企業訪問等を通して引き続き、市内企業の規模拡大や市内移転等を促していく。	産業支援課
32	商工業の育成振興事業	A	95,844	86,051	-9,793	空き店舗の活用や社宅整備補助など起業者や既存企業への補助を実施したが、補助件数は伸びておらず新たな支援策を検討していく。	産業支援課
32	農業振興事業	A	13,311	13,739	428	新規就農者の意見交換会の開催や農地所有者への農地活用アンケートの実施、農地利用最適化推進委員による農地パトロール等を実施した。一方で開発に関わる大規模な農地面積の縮小が懸念される。	農業政策課
7	道路新設改良事業	A	141,199	143,207	2,008	道路新設や改良は安全で安心して利用できるよう維持管理に努め、要望工事も優先順位を付け、計画的に改修した。	土木課
90	河川新設改良工事	B	30,677	73,143	42,466	総合治水計画の改定を実施した。	土木課
3	空家等対策事業	B	585	650	65	空家対策協議会を開催し、特定空家等の判定基準を作成した。不良住宅等を基準に従い判定し、助言、指導を進めていく。また、宅建協会との協定を締結し、空き家の市場への流動を促していく。	都市計画課
8	都市計画道路整備事業	A	429,918	10,084	-419,834	桜ヶ丘沓掛線の内山地区は2月15日に開通した。また、県道名古屋岡崎線豊明中央工区へ接続する都市計画道路の予備設計を委託した。	都市計画課
10	市街地開発事業(住居系市街地整備)	B	12,143	58,619	46,476	住居系の寺池地区、間米南部地区は組合設立に向け順調に進捗している。産業系の柿木地区は一部地権者を除き、金入り同意書を収集済み。豊山地区は民間事業者の進出も決定し、全体での開発は見直しも検討が必要。	市街地整備課
32	市街地開発事業(産業系市街地整備)	B	18,747	12,114	-6,633		
26	公営企業会計移行事業	B	14,127	8,624	-5,503	農排統合は流量の増加に対応するために調査設計を行い関係機関との協議も実施した。公営企業会計移行に備え、システムの構築と関係課との調整を実施した。	下水道課
24	農排統合事業	A	43,829	389,400	345,571		
10	有機循環推進事業	B	2,502	2,271	-231	可燃ごみの排出量を抑制するために家庭系ごみ減量化実施計画を策定し、分別の徹底や食品ロスの啓発に努めた。資源回収は全体量が減少しているが、民間の回収拠点が増加しているためと考えられる。	環境課
6	リサイクル推進事業	B	136,963	148,227	11,264		

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。No.90はめざすまちの姿関連外事業です。

「2_進捗状況」から「5_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。